

令和6年10月22日開催

教育委員会会議録

福知山市教育委員会

1 開会の日時 令和6年10月22日(火)
午後1時30分

2 閉会の日時 令和6年10月22日(火)
午後1時50分

3 招集の場所 市民交流プラザふくちやま 3階 視聴覚室

4 出席委員の氏名 廣 田 康 男
塩 見 佳 扶 子
和 田 大 顕
加 藤 由 美
織 田 信 夫

5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの

教育部長	垣 谷 敏 数
教育委員会事務局理事	伊 豆 英 一
次長兼教育総務課長	濱 田 亜 希 子
次長兼学校教育課長	間 島 哲 哉
学校教育課担当課長兼教育総務課	八 板 嘉 展
学校教育課総括指導主事	中 川 清 人
学校給食センター所長	谷 垣 薫
生涯学習課長兼中央公民館長	岸 見 貴 志
中央公民館管理担当次長	荻 野 幹 雄
図書館長	山 路 智 子

6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者

次長兼教育総務課長	濱 田 亜 希 子
-----------	-----------

7 議事及び議題

別添のとおり

8 質問討議の概要

別紙会議録のとおり

9 決議事項

なし

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

福知山市教育委員会 教育長

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

教育委員会会議録調製者 教育部長

教 育 委 員 会 会 議 録

1 開会

廣田教育長が開会を宣告。

廣田教育長 次に、現在のところはありませんが、傍聴人から傍聴の申請がありましたら許可をしてもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 許可をさせていただきます。

2 前回会議録の承認

廣田教育長 前回の会議録については、異議ありませんでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 それでは、異議がなければ承認をお願いします。
あとで会議録に署名をお願いしたいと思います。

3 教育長報告の要旨

廣田教育長から以下の報告がありました。

(1) 市町村教育委員会研究協議会報告

日時：9月13日 場所：大阪国際会議場

ア 行政説明（文部科学省初等中等教育局 初等中等教育企画課 常盤木祐一課長）
「初等中等教育施策の動向について」

- ① 地方教育行政の充実に向けて
- ② 教師を取り巻く環境整備について
- ③ GIGAスクール構想の推進について
- ④ 不登校児童生徒への支援。いじめ対策等について
- ⑤ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について
- ⑥ 特別支援教育の推進について

イ 研究分科会

○第1分科会「教育委員会の機能強化・活性化について」

○第3分科会「部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ・文化芸術環境の整備について」

それでは、教育長報告を行います。

1点目は、先月13日に令和6年度市町村教育委員会研究協議会が大阪市の大阪国際会議場で開催されました。以前お伝えしましたように、織田委員と私が参加しましたので、報告をさせていただきます。

協議会は2部制で行われ、第1部では行政説明があり、第2部ではテーマごとに分科会が開かれました。各分科会でも始めに文部科学省やスポーツ庁の担当者より説明があり、その後グループ協議が行われました。織田委員は第1分科会「教育委員会の機能強

化・活性化について」に参加され、私は第3分科会「部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ・文化芸術環境の整備について」に参加しました。

第1部の行政説明について、文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課 常盤木課長より、「初等中等教育施策の動向について」と題して、お話がありました。大きく6点についてのお話で、その項目を挙げさせていただいています。それぞれについて印象に残った点等をお伝えします。

1点目の「地方教育行政の充実に向けて」では、教育委員会の機能により、教育の質に地域格差が生じる恐れがあるという点で、自治体の責任にその権限をしっかりと理解しながら、進める必要があると感じました。また、11月に開催されますが、総合教育会議を活用することでの市長等との問題意識の共有、いじめ重大事態等緊急的な対応を進めるうえでの日常的な連携が大切であるとの指摘もありました。

2点目の「教師を取り巻く環境整備について」では、環境整備は喫緊の課題であり、教師の魅力を高める3つの柱である、「働き方改革の更なる加速化」、「学校の指導運営体制の充実」、「教師の処遇改善」を一体的・総合的に取り組むことで実現させていかなければならないことが強く強調されました。特に「働き方改革の更なる加速化」の点では、現場の状況把握が第一であり、取組状況の見える化が大切であると思いました。

3点目の「GIGAスクール構想の推進について」では、ネットワーク環境の改善の必要性が指摘され、学力との関連では、ICT活用の単純な頻度と正答率に直接的な相関は見られないが、「主体的・対話的・深い学び」の視点からの授業改善とは相関関係が見られるとのことでした。

4点目の「不登校児童生徒への支援・いじめ対策等について」は、学びの多様化学校が、現在全国で50校程度開設されているようで、年々増えていますが、国としても、学びの多様化学校・校内教育支援センターの設置促進と教育支援センターの機能強化に引き続き重点を置く方針のようです。不登校児童生徒の欠席中に行った学習の成果の成績評価については、これまでも通知等がありましたが、それらの内容について今回法令改正が行われました。

次に、いじめについてですが、重大事態の4割が当初はいじめと認識できていなかったということで、現場と連携しながら大切にしなければならないと思いました。この点に関しては教育情報でも触れますが、ガイドラインが改訂されました。

次に5点目の「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について」ですが、現行指導要領についての考え方の再確認と実践例の紹介と、個別最適な学びと協働的な学びの進捗状況には地域差が大きいので、指導の手引きの開発と配布が行われるとのことでした。

最後に6点目の「特別支援教育の推進について」では、5歳児検診結果の有効な活用等、切れ目のない支援体制構築事業やインクルーシブな学校運営モデル事業が実施予定とのことでした。

来年度の予算を見据えながら、我々も様々な角度から施策の推進について課題の整理をしていかなければならないと考えています。

第2部の第1分科会について、織田委員さんから御紹介をお願いします。

織田委員

私が参加をさせていただいたグループの方では、東京の清瀬市、それから京都府の精華町、大阪府の四條畷市、奈良県の天理市と私含めて5名でグループ討論をさせていただきました。グループ討論の中での主な意見として、まず定例会議に関しての意見が集中しました。会議の議題の準備については、事前に各委員会から議題を募る。それから、必要な議題については事前説明を実施する。必要に応じて事前勉強会を実施する。さらには事前協議会を開催するといったような意見も出ておりました。特に定例会以外に会議を設けておられる自治体もありました。例えば大

阪府の箕面市でありますと、週に1回、委員全員会議を開催しておられるそうです。ほかにも兵庫県の伊丹市では、月1回、委員協議会を開催しており、福岡県の春日市においては、委員懇談会を開催するという形で、定例会以外にも議題・課題について、意見交換される場を設けておられるというお話がありました。

それから、教育委員さんの間での連携・連絡というところで、特に奈良県の天理市においては、民間委員の方が主体的に動いておられまして、Googleを活用してクラスルームというものを作成し、いつでも各委員さんが連絡し合える体制を構築されております。そういう意味においては、各自治体の教育委員会において、タブレットを含めたオンラインツールを活用した連絡手段の必要性があるのではないかという意見も出ておりました。

その他のところでは、教育委員と市民、保護者との学び合いの場が必要ではないかといったような提案、それから学校・園以外に保護者からの要望を受け付ける窓口を設置する必要があるといった意見ですとか、教育委員会会議の前後に、教育委員さんと事務局との意見交換の機会を確保する必要もあるのではないかといった意見もありました。それから教育委員保護者枠以外に、私のような人間ではないですけども、企業人、経営者等を入れる必要もあるのではないかという提案もされておりました。ほかにも、前回の教育会議の中で少しお話をさせていただきましたけども、若手教員の育成という意味においては、教育委員と若手教員とのコミュニケーション機会を設ける必要もあるのではないかといったような、教育委員会の機能強化・活性化についての意見交換・提案ができました。

以上です。

ありがとうございました。

第3分科会については、初めに「部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ・文化芸術環境の整備について」、スポーツ庁地スポーツ戦略官の大野雅史さんより説明がありました。現状の報告や先進自治体の取組紹介、今年度の取組、来年度の概算予算要求についてのお話でした。取組には依然地域差があるが、実証事業等への参加は大きく増えているとのことでした。まとめとして話された、地域のやりやすい方策への支援が国の役割、部活動では、それぞれの経験に引っ張られることが議論の難しさにつながるとの指摘が印象に残りました。

その後、2市と1町の方とグループ協議を行いました。財源、指導者確保、移動手段、受益者負担等、地域の違いはあっても課題として共通することもたくさんありました。

(2) 第17回高橋松之助記念「朝の読書大賞」

受賞 大江学園 小学校から中学校を通して、朝の読書をはじめとする読書推進活動・図書館教育を学校一丸となってい、子どもたちの読書の習慣化とともに様々なジャンルの読書への導きを進めている点が高く評価された。

贈呈式 11月1日(金) 場所：出版クラブビル(東京都千代田区)

(3) 令和6年度社会を明るくする運動作文福知山地区優秀者

○有牛聡哉さん(惇明小6年) ○奥本奏太さん(上川口小6年)

○岸本碧葉さん(大江小6年) ○田中 雫さん(日新中1年)

○古寺佑輔さん（大江中2年）

（4）第46回少年の主張京都府大会

○「京都新聞賞」

小山にじ香さん（日新中学校3年）「知れば変わる私たちの未来」

○「佳作」

衣川韓寧さん（夜久野中学校3年）「失敗の大切さ」

（5）第13回子ども読書本のしおりコンテスト

○最優秀賞（京都府教育委員会教育長賞） 岩堀博悠さん（昭和小3年）

○優秀賞 芦田日茉莉さん（雀部小5年）

○佳作 吉武侑莉さん（昭和小2年） 岡田 彩さん（雀部小3年）

表彰式 11月3日（日） 場所：京都府公館

次に、項目の2から5について、受賞等の結果を報告させていただきます。

まず、2の第17回高橋松之助記念「朝の読書大賞」を大江学園が受賞しております。小学校から中学校を通して、朝の読書をはじめとする読書推進活動・図書館教育を学校一丸となってい、子どもたちの読書の習慣化とともに、様々なジャンルの読書への導きを進めている点が高く評価されたということになっております。贈呈式につきましては11月1日（金）に、校長と学校司書の2名で参加する予定と聞いております。

3点目は、令和6年度社会を明るくする運動作文福知山地区優秀者の5名の名前と学校名を載せております。

4点目の第46回少年の主張京都府大会ですが、京都新聞賞に日新中学校3年生の小山さんが入選しております。また、佳作としては、夜久野中学校3年生の衣川さんが入っております。作文が入手できれば、また見ていただきたいと思います。お待ちしております。

続いて5点目です。第13回子ども読書本のしおりコンテストにつきましては、昭和小学校3年生の岩堀さんが最優秀賞として、京都府教育委員会教育長賞を受賞しております。ほかにも優秀賞として芦田さん、佳作として吉武さん、岡田さんが選ばれております。表彰式については、11月3日に京都府公館で行われる予定と聞いております。

（6）大会等の結果

ア 第32回中丹中学校駅伝競走大会 10月12日（土） 於：豊里コミセン

男子 1位桃映中 3位日新中 4位南陵中

女子 2位南陵中 3位日新中 4位桃映中 6位成和中

※京都府駅伝大会 11月10日（日） 於：丹波自然運動公園

イ 市中学校新人総体（1位校）9月14日・21日～

○陸上（男子 南陵中・女子 南陵中） ○野球（日新中）

○バレーボール女子（南陵中）

○バスケットボール（男子 南陵中・女子 南陵中）

○ソフトテニス（男子 南陵中・女子 南陵中）

○卓球（男子 桃映中・女子 南陵中）

○剣道（南陵中） ○サッカー（南陵中）

次に、中体連の大会結果です。

10月12日（土）に中丹中学校駅伝競走大会が例年通り豊郷コミセンで行われました。結果としましては、男子の方で、桃映中学校が見事優勝をしまして、3位に日新、4位南陵、女子の方では、2位に南陵、3位日新、4位桃映、6位成和ということで非常に頑張っております。これらの学校につきましては、11月10日に予定されてお

ます京都府駅伝大会に出場することになっております。

続きまして市の新人総体が9月14日、そして21日以降行われておりました。競技結果のうち、団体1位の学校について紹介をしておりますので、御覧ください。南陵中学校が特に良い成績を残しているという結果となっております。

(7) 教育情報

ア いじめの重大事態の調査に関するガイドラインの改訂（別紙）

平成29年度に作成された「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」の改訂について

今回の改訂により、重大事態調査への学校や関係者の対応がより明確化

イ 京都府公立学校教員採用選考試験結果※（ ）は前年度

9月19日発表 採用候補者456名（446名）を名簿登載

○採用予定者数を上回る名簿登載

○教育改革や教育課題に対応する多様な人材確保

○優秀な大学生の確保

○倍率 小学校2.5（3.0） 中学校3.7（4.3）

全 体3.4（3.7）

※令和6年度志願状況

○採用予定人数 400名程度

○倍率 小学校3.0 中学校 5.2

全 体4.1

次に教育情報として2点です。

1点目は、いじめの重大事態の調査に関するガイドラインの改訂についてです。先ほども申しあげましたが、平成29年度に作成された「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」が改訂されました。今回の改訂により、重大事態調査への学校や関係者の対応がより明確化されました。別紙を御覧ください。また、重大事態対応におけるチェックリストも作成され、そうした際に参考にして活用できるようになっています。

次に、京都府公立学校教員採用選考試験結果が9月19日に発表されたことは前回お知らせしましたが、その実施状況が府教委より公表されました。今回は456名が名簿登載されました。その特徴的な内容としては、採用予定者数は400名でしたが、それを上回る名簿登載がされたこと、教育改革や教育課題に対応する多様な人材の確保が行われたこと、府独自に実施している「教師力養成講座」の修了者や大学からの成績優秀による推薦者等、優秀な大学生の確保ができたことが挙げられています。これらは昨年と同様です。名簿搭載者は今後、11月と来年1月に事前研修を受けて4月に備えることになります。本市は来年度も一定数の初任者を受け入れることになる見込みです。

私からの報告は以上です。何か御質問はございませんでしょうか。

全委員 特になし。

廣田教育長 本日は決議事項がありませんので、報告・説明事項の教育長決裁による後援承認事項について説明をお願いします。

4 報告・説明事項

(1) 教育長決裁による後援承認事項について

谷垣教育総務課企画管理係長 ～資料に基づき報告～

No.33 ふくジョブキッズ

- No.3 4 福知山市市民憲章推進大会
- No.3 5 第2回 ソフトテニスS TリーグⅡ
- No.3 6 Kids Concert2024

廣田教育長 後援承認について御質問や御意見がありましたらお願いします。

全委員 特になし。

5 閉会

廣田教育長が閉会を宣言。